

新たな治安課題への対応について

【担当省庁】総務省、国家公安委員会、警察庁

警察官の増員等

◆ 京都府の治安情勢は、刑法犯総認知件数に一定の減少傾向がみられるものの、ストーカー・DVや児童虐待、特殊詐欺等の女性や子供、高齢者が被害に遭う事案が多発しており、依然として厳しい状況にある。

また、京都は日本を代表する国際観光都市であり、2020年の東京オリンピック開催を控え、国際テロの脅威への対応に万全を期す必要がある。

については、

- 人身危機（人身安全関連）事案対策
- 特殊詐欺対策
- 国際情勢の変化を踏まえた国際テロ対策等

を強化するための警察官を増員していただきたい。

◆ 現代の犯罪に対応するために必要不可欠なDNA鑑定やポリグラフ検査等を行う高度な専門職種について、財政上の措置を講じていただきたい。

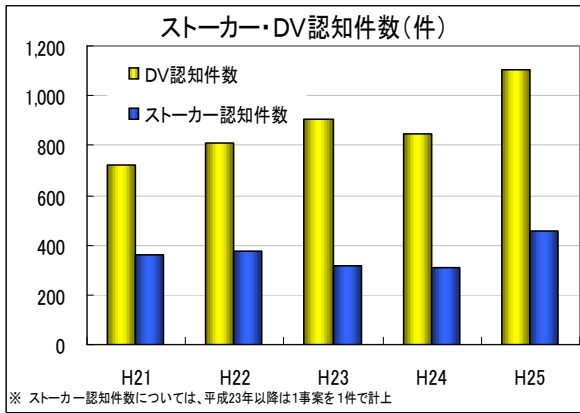
<警察庁の概算要求>

- ◎ 人的基盤の充実強化 ～ 地方警察官の増員 1,020人

依然として厳しい治安情勢等を踏まえ、既存の人員で対処し難い緊急の課題に的確に対処するため、必要な地方警察官を増員

【現状・課題等】

○ ストーカー・DVの現状（京都府）



ストーカー【平成26年8月末(前年同期比)】

- 認知件数 331件 (前年同期比+66件、+24.9%)
- 検挙件数 38件 (前年同期比+6件、+18.8%)

DV【平成26年8月末(前年同期比)】

- 認知件数 912件 (前年同期比+261件、+40.1%)
- 検挙件数 93件 (前年同期比+45件、+93.8%)

※ ストーカー・DVともに過去最多の前年を上回るペースで増加

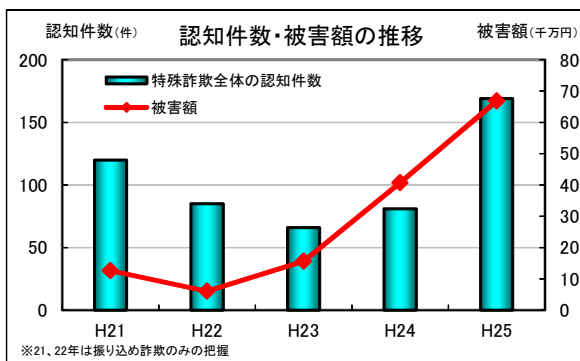
○ 児童虐待認知情報件数・通告数（京都府）

区分	年次	平成 23年中	平成 24年中	平成 25年中	前年対比		平成25年 8月末	平成26年 8月末	前年同期比	
					件数・人員	増減率			件数/人員	増減率%
情報件数	件数	223	273	309	36	13.2	199	274	75	37.7
	身体的虐待	114	91	113	22	24.2	68	87	19	27.9
	性的虐待	2	2	3	1	50.0	2	3	1	50.0
	怠慢・拒否	48	78	68	▲10	▲12.8	45	53	8	17.8
	心理的虐待	59	102	125	23	22.5	84	131	47	56.0
通告数(児童数)	件数	307	380	478	98	25.8	303	426	123	40.6
	身体的虐待	129	99	125	26	26.3	77	106	29	37.7
	性的虐待			2	2	—	1	2	1	100.0
	怠慢・拒否	66	97	107	10	10.3	70	76	6	8.6
	心理的虐待	112	184	244	60	32.6	155	242	87	56.1

(注) 情報件数・通告数は各警察署における取扱い件数

※ 情報件数・通告数ともに過去最多の前年を上回るペースで増加

○ 特殊詐欺の現状（京都府）



【平成26年8月末(前年同期比)】

- 認知件数 98件 (-5件)
- 被害金額 7億5,261万円 (+3億5,592万円)
- 検挙件数 24件 (+1人)
- 検挙人員 17人 (+11人)
- 年齢別(被害者) 98人中69人(70%)が65歳以上の高齢者

※ 平成25年中の認知件数は、前年の2倍を超え、被害額も大幅に増加

- 京都における国際情勢
 - ・ 国際会議開催件数 ～ 京都市 全国 4 位
 - ・ 訪日外国人数 ～ 訪日外国人の 10 人に 1 人が京都府内宿泊
米旅行雑誌 人気観光都市 世界 1 位
 - ・ 日本海側拠点港（舞鶴港）～ 制裁以前の北朝鮮船舶入港数 全国 1 位
国際フェリー定期就航を目指して準備中
 - ・ 米軍施設「経ヶ岬通信所」における T P Y - 2 レーダー（Xバンドレーダー）の本格運用（本年 12 月を目途）

- DNA鑑定・ポリグラフ検査の実施状況（京都府）
 - ・ DNA鑑定実施資料数
H21：3,252 点 → H25：5,637 点（73.3%増）
 - ・ ポリグラフ検査実施件数
H21：138 件 → H25：224 件（62.3%増）

【京都府の担当課】

京都府警察本部 総務部 会計課 075-451-9111（内線 2244）